

公表:令和 4年 3月 27日

事業所名

Calm Bright

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			子どもの動線を考え環境を構成している。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			少ない人員で効率的に把握できるように職員の立ち位置について活動に合わせて変えている。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○		今後段差の少ない物件に移動を考えている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			常に全員でサイクルの共有を行うようにしている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				ニーズの把握はアンケート以外に面談等で行っているがアンケートの回数を増やすようにしていきたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				ホームページの作成を検討している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		特になし
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部の研修以外に会社として定期的に基本的な研修を行っている。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			共通のアセスメントシートを使用している。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個人単位の気づきから、情報を共有し、全体で活動のプログラムを考えている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			個人個人の目標が違うため全体で行う活動については固定化されないように月単位でスケジュールを組んでいる。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			日々、設定する支援と、子に応じた支援に時間を分け細かく対応している。	
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個と集団に分け計画を立てている。		

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日実施している。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			翌日の午前中に実施している。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			ケース記録を毎日記入している。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			子どもの状況に応じて見直している。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			設定する場面や、自由に過ごす場面等、時間やグループを分け満遍なく行えるようにしている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○			担当者会議が夕方の支援時間に行われることが多く、基本的には児童発達支援管理責任者が出席するようにしているので、会議の時間帯の要望を出している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		送迎時に行っている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					受け入れをできる体制をもっていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				担当者会議で行っている。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					現在、学校を卒業した者はいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		定期的な研修は行っていない。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○			地域の公園等社会資源を使う場面においての交流に留まっている。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○			時間帯が送迎の時間にあるため参加できないことが多いが、できる時は参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○			口頭で共有するだけでなく、連絡帳等を使って話を聞ける体制を作っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		現状行っていない。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				契約時に行っているが、相談があった時は都度個別に対応している。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○			相談があった時は都度個別に対応している。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		今後状況を見て検討していきたい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○			相談があった時は都度個別に対応している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				定期では行っていないが、SNSを通じて情報を共有できる体制を考えている。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○				漏洩が無いよう個人情報の持ち出し等全体でしていない。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				手話を学習したり、視覚的な情報ツールを使って対応している。
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				他事業との交流をしている。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				相談があった時は都度個別に対応している。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				緊急性が伝わりにくい児童にどう対応するか、決まったルールを定期的に繰り返し伝えている状況
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎年研修を受けている。	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○		身体拘束の必要性が見られる児童がいないため実施していない。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○			アレルギー対応の必要性が見られる児童がいないため実施していない。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○			改めた共有をしていないため、時間を設けられるようにしていく。